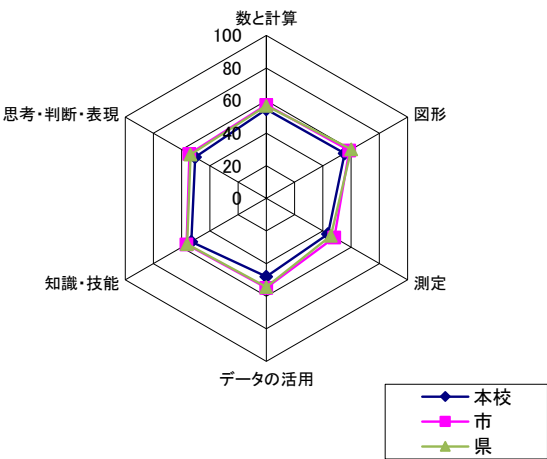


宇都宮市立豊郷南小学校 第4学年【算数】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	数と計算	54.6	57.4	56.9
	図形	55.4	58.7	60.1
	測定	43.7	48.1	45.7
	データの活用	48.0	54.9	54.3
観点	知識・技能	53.2	56.6	56.2
	思考・判断・表現	50.6	54.5	53.8



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	・領域の正答率は、54.6%と県、市の正答率と同程度である。 ○「3桁－3桁＝3桁の計算をする。」問題では、85.1%で市の正答率を4.6ポイント上回っている。 ●「数直線で、目盛りが表す数の大きさを分数で答える。」問題では、29.0%で市の正答率を17.8ポイント下回っている。	・数直線で、目盛りが表す数の大きさについての理解を深める活動を増やす。
図形	・領域の正答率は、55.4%と県、市の正答率と同程度である。 ○「正三角形を作図する。」問題では、81.3%で市の正答率を5.8ポイント上回っている。 ●「箱の横の長さから球の半径を求める。」問題では、46.7%で市の正答率を9.8ポイント下回っている。	・関連事項を確認する際に、図形の性質や定義をもう一度確認し、具体物を活用し指導していく。
測定	・領域の正答率は、43.7%と県、市の正答率と同程度である。 ●「はかりの目盛りを読み取り、重さを答える。」問題では、29.9%で市の正答率を5.2ポイント下回っている。また、無回答も多かった。	・日常生活の場面で、ものの重さを量ったり、単位換算をしたりする活動を取り入れて定着を図る。
データの活用	・領域の正答率は、48.0%と県、市の正答率を6ポイント下回っている。 ●「二次元の表から読みとることができる、正しい傾向を選ぶ。」問題では、51.4%で市の正答率を8.7ポイント下回っている。また、無回答も多かった。	・数学的活動を通して、表を読み取る活動を取り入れ理解を深める指導を続けていく。 ・他教科においても、グラフやデータから読み取る学習を取り入れ、定着を図る。